



ほろいずみ ニュース No. 145

発行:えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日:令和元年9月5日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL:01466-2-2410 E-mail:erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

わらしゃんど・自然体験キャンプ

7月31日から8月2日までの2泊3日、わらしゃんど・えりも自然体験「自然体験キャンプ」が行われました。

町内の小学4年生～6年生、中学生及び高校生(ボランティア)21名がキャンプに参加。

初日、キャンプ地到着後、テントを張り・まき集め・五右衛門風呂に水を入れる作業を行い、夕食は参加者自らが調理し、カレーライスをつくりました。



夕食後、子どもたちは、日中に集めたまきを使い「五右衛門風呂」の湯沸し作業を行い入浴。

入浴後は、マシュマロを木の枝に刺して、焼きマシュマロを食べました。



2日目、午前中は森の生物・川の生物観察を行い、昼食後、魚釣りや川遊びを行い、参加者は自然を満喫。



夕食は、ピザを生地から練り上げて、火にかけて焼き上げるまでの調理を行った後、暗闇体験&夜の昆虫採集を行いました。

最終日は、川遊びや虫探しを行い、昼食は、流しそうめんを堪能。

参加者は、日常生活では体験できない多くのことを学び、キャンプ中は楽しく過ごしていました。



アイヌ語de動植物⑭
～カラス(烏・鴉)～



北海道で見られるカラス科鳥類は8種おり、普通に見られる種類はハシブトガラスとハシボソガラスです。両種とも全身黒色、羽には青や緑の光沢があります。

ハシブトガラスは、人目につかない森林に好んで営巣し、くちばしが太く、身体も大きく、鳴き声はカァカァと澄んでいます。

一方のハシボソガラスは、林や畑・公園など人通りの多いところでも営巣し、畑や川岸・海岸などさまざまな場所で見られ、鳴き声はガァガァと濁ります。

カラスはアイヌ語で「パスクル」と呼ばれ、鳴き声でさまざまなことを教えてくれ、悲しく聞こえるときは悪いことがあり、騒いでいるときは客がくするそうです。

参考:

『アイヌ語で自然かんさつ図鑑』(帯広百年記念館)
『アイヌ語の動植物採集』(川村正一編)11

町のシンボルとして後世に

8月14日から16日、「第46回えりもの灯台まつり」が行われた灯台公園の中心でライトアップされていたのが「幌泉灯台記念塔」。

今年7月に国の登録有形文化財に選ばれ、年内にも正式登録されます。

幌泉灯台記念塔は、当時幌泉村だった昭和3年(1928年)にえりも港に面する灯台山の頂上に建築した鉄筋コンクリート造、四角柱の外観で、昭和初期のデザインを残し、内部にも階段など当時の付属設備が残っています。

昭和53年(1978年)に灯台としての役割を終え、灯台山を崩し、えりも港整備時に灯台公園のシンボルとして移築されました。

現在、町のシンボルである「幌泉灯台記念塔」のすばらしさを後世へ伝えていかなければいけません。



灯台まつりでライトアップされた「幌泉灯台記念塔」

9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○

9月～10月の
開館カレンダー